



■ 略歴  
 1979年・阿南市見能林にて出生  
 1992年・徳島県阿南市立見能林小学校卒業  
 1995年・徳島県阿南市立阿南中学校卒業  
 1998年・徳島県立富岡西高等学校普通科卒業  
 1998年・慶應義塾大学法学部政治学科入学  
 体育会航空部主将を務める  
 2002年・慶應義塾大学法学部政治学科卒業  
 2003年・北米大陸横断旅行(NY→LA)達成  
 2003年・株式会社UFJ銀行  
 (現三菱東京UFJ銀行) 入行  
 法人取引を担当  
 2007年・財団法人松下政経塾に入塾(第28期生)  
 2010年・財団法人松下政経塾卒業  
 ・自由民主党徳島県連  
 次期参議院議員候補 公募  
 ・7月11日 第22回参議院議員選挙に  
 当選(徳島選挙区)全国最年少(31歳0ヶ月)  
 2012年・自民党政審議会 副会長  
 ・参院消費者問題特別委員会 理事  
 2013年・参院内閣委員会 理事  
 ・参院自民党国会対策委員会 副委員長  
 2014年・参院環境委員会 筆頭理事  
 ・参院ODA特別委員会 理事  
 ・参院自由民主党副幹事長(財金担当)

ユースケプロフィール

参議院自民党副幹事長(財金担当)  
 自民党環境関係団体委員長  
 自民党環境部会 部会長代理  
 自民党青年局 局長代理

- 誕生日: 1979年7月12日
- 出身地: 徳島県阿南市
- 血液型: O型
- ポリシー: 天命に生きる



**最年少の会**  
 小泉進次郎青年局長、宮川典子衆議院議員と。



**2060研究会**  
 弁護士、会計士、経営者、グローバル企業人事など多くの業界に在る同世代と将来ビジョンを研究。2060年は、中西が80歳になる歳。政治は、将来への結果責任。来季は分科会で深掘りも。



**居酒屋政経塾**  
 徳島の四大学(徳島、四国、鳴教、文理)の志ある学生さん達と語り合う“居酒屋政経塾”開講。政治は生活そのもの、の視点で我々世代の生きる時代を語る。



**徳島ビジョン懇談会**  
 魅力ある徳島の各層活動家たちと、徳島の将来ビジョンについて定期的に意見交換会。前向きな発想とアクティブな行動力は、間違いなく時代の担い手となり、次代を創っていく。

**急募!! 現地現場に基づいた政治を行うために、徳島事務所ではこれらを募集しています。**

くるまご集會

デリバリー・ユースケ! あなたの元に直接ユースケが伺います。学生さんからおじいちゃんおばあちゃんまで5人〜、1時間以上寄って頂ければ、現下の国政報告、本人の政治理念をお話しさせていただきます。また皆さま方の思いや地域課題についても直接伺い、今後の活動に反映させて参ります。ぜひ熱い語り合いいたしましょう!  
 →会場:ご自宅から公民館まで、どこでも。  
 →時間:1時間以上  
 →日程・内容:ご希望を事前に、下記事務所までご連絡を!



学生ボランティア&インターンシップ

ユースケは、次世代につなぐ政治を実現したい。歴史をひもとけば時代の変り目には常に、20代、30代が主軸になって動かして来ました。ともにユースケと政治や社会を語りながら、我々とともに活動出来る学生さんを募集しています。経験不問、志のみ持参!熱い仲間を心から歓迎します。



学生さんの活動も応援します!  
 (写真:HSP子どもトライアスロン役員総会@徳島大学)

後援会およびサポータースタッフ

ユースケは、ともに考え、ともに創る政治を目指しています。日本の国難たるこの時代、切り拓くには、同じ思いで活動をご支援頂ける仲間が必要です。これからのユースケを、皆さまがお育てください!後援会活動や広報活動について、ご協力頂ける皆さまを募集しています。  
 →後援会員入会  
 ①事務所連絡先にある、電話/FAX/Mailに、氏名、住所、連絡先をお送りください。  
 ②ホームページ内入会案内より、お手続きください。  
 →サポータースタッフ



本活動報告誌や、ポスターの掲示など、出来る範囲でユースケの地域活動をサポート頂けるスタッフを募集中です!地盤・看板・カハンのしがらみなき政治家、ユースケをあなたの手でお支えくださいませ。ご連絡は事務所まで。

個人献金/ネット献金

ユースケは、“政治とカネ”に終止符を打ちたい。利権に基づく政治は、為すべきことを成さしめません。しかし、いくら工夫をしても活動を進めるには広報や事務所運営など、最低限の資金が必要なおも事実です。皆さんのお気持ちを、ご支援ください。なお、献金につきましては、政治活動に大切に活用させて頂き、政治資金規正法に基づきご報告させていただきます。  
 →お手続き方法

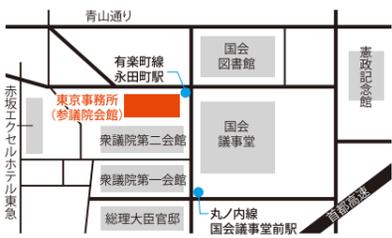


事務所までご連絡ください。「注意事項」「特典事項」をご説明の上、ご案内致します。

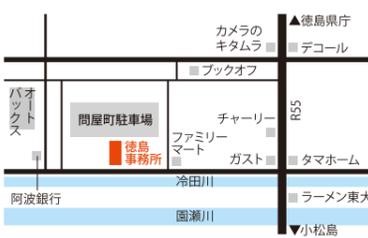
中西祐介事務所

ユースケ本人へ ☑ info@yusuke-nakanishi.jp

\\ 東京事務所  
 〒100-8962  
 東京都千代田区永田町2-1-1  
 参議院議員会館622号室  
 Tel.03-6550-0622  
 Fax.03-6551-0622  
 ☑ yuusuke\_nakanishi02@saingiin.go.jp



\\ 徳島事務所  
 〒770-8056  
 徳島県徳島市問屋町31番地  
 Tel.088-655-8852  
 Fax.088-655-8853  
 ☑ yuusuke-nakanishi@nifty.com



“読む、ユースケ。JOURNAL/Y” バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。

詳しい情報は  
 ホームページへ

<http://www.yusuke-nakanishi.jp>



読む、ユースケ。

JOURNAL/Y

“日に新た”に躍動する 参議院議員中西祐介 情報誌 / ジャーナルワイ / Create our new age and make each day a-new 2014 秋 Issue 8



2014年6月、福島県広野町の除染現場にて。袋詰めされた県内53,825カ所(3月末時点)に及ぶ汚染土仮置き場は、今この瞬間も同じ日本に厳然として存在する。中間貯蔵施設共用開始に向けて迅速かつ根気よく作業をバックアップしていく。

ご挨拶

greeting

南北に長い列島国・日本。  
 悠久の歴史の中で、我々の祖先たちは常に自然の猛威にさらされながら、共生を図ってきた。

3.11  
 我々は何を学び、何を省み、教訓とすべきか。  
 将来に渡って物心共に豊かな日本を実現するため、現場を直視する姿勢を大切にしたい。

「現地現場主義」  
 現場に一灯の光を点す、そんな政治を目指したい。

35歳、中西祐介、走り続けます。

参議院議員 中西祐介

委員会の様子はこちらでご覧頂けます ▶▶ <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>



日に新たに

参議院議員 中西祐介

見る、ユースケ。

Issue 8 2014 秋

### ユースケの 当選から これまでの 国会での歩み

2010.7-2014.8

皆様の思いを国政へと、  
取り組ませて頂きます。



→2010年7月30日  
参議院、初登壇  
31歳0ヶ月最年少参議院議員として胸を張って決意の一枚。



→2011年7月  
地元要望を行動に  
本四架橋通行料の全国一律を求め国交省に要望活動。



→2011年12月  
The Biggest Paint Project  
世界一大きな絵を子ども達に。永田町の枠を超えて将来世代につなげる活動を展開。



→2012年3月30日  
予算委員会 初質疑  
暫定予算の総括質疑に、史上最年少で登壇。当時の野田首相はじめ全大臣出席の中、奮闘。



→2012年5月  
ASEAN視察  
自民党総研の派遣でASEAN 4カ国を視察。日本の新たな国際貢献と経済連携の可能性を模索。



→2012年7月25日  
社会保障と税の特別委員会  
社保特委員としてTV質疑。民主党による扶養控除削減、子ども手当の破綻など子育て政策の不備を迫る。



→2012年9月  
自民党総裁選  
新生自民党をかけて、石破陣営で総裁選を戦う。全国遊説では候補者付きでカケル!



→2012年11月  
政策審議会副会長に就任  
33歳の執行部入りは異例の抜擢。政局より政策。今後の与党の政策責任を重く自覚。



→2012年11月  
参議院 議院運営委員に着任  
ねじれ国会の中で重要な役割がある議運。衆院選後、参院は少数与党として知恵と汗が試される。



→2012年12月  
第46回衆議院議員総選挙  
政権奪還をかけて最大限の応援に。「日本を、取り戻す」為に第一歩目の勝利。



→2013年1月  
青年局 被災地東北視察  
東日本大震災からの復興の遅れが目立つ、東北・福島へ、地域の火を消すまいと奮闘される地元の皆さまから課題をヒアリング。



→2013年5月  
参院内閣委員会理事就任  
与党の立場として、参院内閣委員会の次席理事に就任。マイナンバー法案や日本版NSC法案等の重要法案成立に尽力。



→2013年5月  
徳島県政策要望を党へ  
飯泉知事、竹内県連会長、後藤田副大臣、福山先生とともに、県の政策要望の陳情に同行。徳島のために働きます。



→2013年7月  
第23回 参議院議員選挙  
6年ぶりの衆参ねじれ解消をめざして、徳島選挙区の三木とおる候補を全力で応援。多くのご支持を頂き、「決められる政治」へ。



→2013年9月  
海外ODA視察  
参院の公式派遣により、超党派にてガーナ・ブルキナファソ・フランスを視察。同世代の政治家と両国の将来を語り合う。



→2013年10月  
参院自民党国会対策委副委員長 就任  
最も「汗をかく」国会副委員長に就任。政府各省・野党・与党間で、政策審議の進め方、擦り合わせを行う立場に大抜擢。



→2013年10月  
参院環境委員会「筆頭」理事就任  
史上最年少で、参院与党の筆頭理事に抜擢。原発事故の収束等、環境分野での課題と使命は大変大きい。早速先頭で質疑。



→2013年12月  
参院本会議 34歳5ヶ月史上最年少登壇  
第185回国会終盤。野党からの問責決議に対して、自公両党代表としての反対討論を行う。党利党略の国会から脱却のために尽力。



→2013年12月  
青年局ベトナム派遣  
我が国のシーレーン上、また今後の経済連携上、重要な位置を占めるベトナムへ派遣。次世代指導層の定期的な交流の実現へ前進。



### 参院決算委員会 総括質疑

参院史上最年少にて、締め括り総括質疑を行う。安倍総理を始め全大臣ご出席の下、法人税減税や放射能汚染土の中間貯蔵施設運用開始問題など、重要なテーマを質す。政府与党一体となって諸問題に取り組む。

### 台風11号による大規模浸水状況対策

西村康稔内閣府副大臣ほか政府調査団と共に、災害現場調査。阿南市加茂谷地区や那賀町、海部郡海陽町地区における情報収集では、「現地現場」の重要性を痛感。



### 地元愛。



「治水」こそ政治の基本。吉野川流域の無堤低床地域、土砂災害が危惧される中山間地域の山林整備など、改めて災害への備えを再点検し、「命を守る」政治を行いたい。

### 福島県視察

中西が筆頭理事を務める参院環境委にて、原発事故の収束を図る福島県内の状況を視察。防護服と線量計に身を包み、東電福島第一原発の内部にも潜入。



原子炉建屋の解体に際し、作業現場を視察。劣悪な環境にさらされる作業員の環境改善も重要なテーマだ。



道、家屋、農地に至るまで、丁寧な除染作業が続く。一刻も早く福島の将来ビジョンを示すことこそ、政治の大きな仕事だ。

### 政策提言



石破幹事長(当時)あて、低炭素社会実現に向けたLED等の環境技術促進策を提言。

安倍総理あて「2030年の日本」をテーマに、国のグランドビジョンの中間報告を行う。



→2014年6月9日  
参院決算委 総括質疑  
総理全閣僚を前にTV入り質疑。決算重視の参院では、検証結果を予算に反映する。



→2014年6月5日  
東電福島第一原発視察  
原発建屋内部や周辺地域の除染活動を視察。「福島復興なくして、日本の復興なし」。



→2014年6月30日  
政策提言  
責任ある与党として、現地現場に基づいた政策提言を政府・党幹部に直接行う。



→2014年8月  
ODA視察派遣  
公式派遣団団長として、中米諸国へ。「地球儀俯瞰」しながら戦略的な外交政策を策定。

### 自由民主新聞



中西は環境部会長代理として、政策の取りまとめを行う。機関誌「自由民主」の取材。

### 地球儀俯瞰。

### ODA視察

参院の公式派遣団団長として、中米(ドミニカ共和国、パナマ、コスタリカ、ニカラガ)に視察。予算的支援もさることながら、現地で活躍するJICA等日本人の活躍が高い評価を受ける現地。途上国とも互恵関係が持てる支援策を展開したい。

